

## 中小企業等をねらう標的型メールに注意!!

特定のターゲットに絞ってサイバー攻撃を仕掛けることを「標的型攻撃」と言い、その中でも電子メールを利用したものを「**標的型メール**」と呼びます。

以前は大手企業がターゲットとされてきましたが、大手企業がセキュリティ対策を強化したことに伴い、大手企業とビジネス上で付き合いのある中小企業に攻撃を行い、大手企業の情報を狙う等踏み台とされることがあります。

### 特徴

- ・ターゲット企業の知り合いや取引先をかたり、悪意のあるファイルを添付したり、悪意のあるサイトに誘導するためのURLリンクを張り付けたメールを送信する。
- ・メール内容等が非常に巧妙で、開封させるために受け取った人の興味を引き、つい開けたくなる件名のメールであることが多い。

### 送信元メールアドレスの例

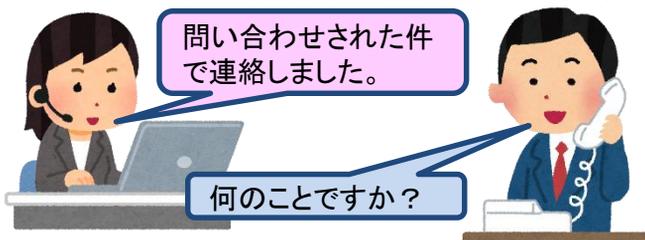
- ・表示名<見覚えのない不審なメールアドレス>
- ・<詐称対象の人物名>@<詐称対象の組織企業>.com(又は.org)
- ・<詐称対象の人物名>@<著名なフリーメールのドメイン>

### 不審メール内容の例

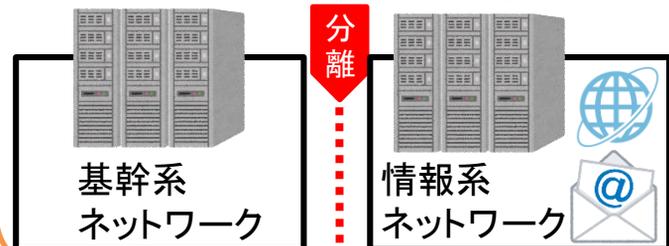
- ・就職活動に関する問い合わせや履歴書送付
- ・製品やサービスに関する問い合わせ、クレーム

## セキュリティ対策として行うべきこと

### メール以外の方法で相手方に確認



### ネットワークの分離



### 重要サーバーの要塞化

- ・不要サービスの機能停止
- ・アクセス権限の最小化
- ・ファイルの暗号化
- ・セキュリティパッチの  
随時適用



### 社員教育の実施

- ・不審メールを見つけた際の対処法の教育
- ・標的型メール訓練等の実施

